

学校診断アンケート調査を行い、昨年度からの変容、三者の意識の違いを比較しました。

(回答数：保護者 115名・教職員 19名・児童 128名)

【健康・体力・体作りの育成】

全体的に、評価が3以上と高い評価となっています。昨年度に比べ、活動の制限が緩和され、感染対策を取りながらも、体育や休み時間に活動する機会が増えたためと思います。中でも、鉄棒教室や投てき教室などの体力向上に向けた取り組みや、運動会、体育学習の充実が「運動への取り組み」の保護者・教職員のポイントが上がったことにつながったと思います。しかし、児童のポイントが下がっているのは、昨年ほどではなくても感染対策のため活動が制限されたり、緊急事態宣言などの発出があったりした影響ではないかと考えられます。また、「決めたことは最後まで取り組む」では、児童・教職員のポイントは上がっている傾向にあり、努力の成果の表れと思われる。今後も感染症対策をしっかりとしながら活動を工夫し、少しでも運動することができ、最後まで粘り強く取り組むことができるようにしていきたいと思っています。

【学ぶ力の育成】

児童はほとんどの項目で上昇傾向にあり、3以上の高い評価であり、この1年を自分自身ががんばってきたと捉えていると考えられます。「忘れ物に気を付けて準備」の上昇率が高く、大切な学習道具を忘れることなく、しっかりと学習に向き合い取り組んでいることがうかがえます。また、今年度配付した「家庭学習の手引き」の効果もあり、「家庭学習に取り組むが」0.6ポイント以上も上昇し、家庭での学習習慣の意識や取り組みが高まっていると感じます。『「書く」「計算する」力を付ける』についても、定期的に朝学習や授業の中で基本的な学習を身に付ける取り組みを行っているため、力が付いてきていると評価しています。しかし、どの項目も保護者・教職員のポイントは高くありません。子供たちが思っているよりも課題として感じています。教職員も日々子供たちへ指導・支援を行い、友達との関わりの中で成長をしていますが、十分伝えきれていない思いと、まだまだ伸びしろを感じているところと捉えています。また、家庭との連携がもっとできたのではないかと感じています。例えば、「家庭学習の手引き」に読書を取り入れるなど、内容を定期的に見直し、保護者に伝えることで、手引きの定着につながると考えています。中学校では、朝学習でも読書を行っています。学校でも図書時間を確保したり、「みのりの丘」「みどり文庫」の方々を招き読み聞かせを通して本に親しんだりしています。引き続き、読書習慣に力を入れていきたいと思っています。『「書く」「計算する」力をつける』『基礎的な学力を身に付ける』など、課題解決のためには朝学習の充実、学習の定着を図る時間の確保など、より一層学習の充実を図っていく必要があると考えています。今後も、学校での取り組みや方針、お子さんの成長がわかるよう更なる連携をとっていききたいと思っています。

【健全な心の育成】

全体的に評価の高い項目が多く、心の育成を継続的に行うことができ、実践していると感じることがわかります。保護者の評価が昨年度より下がっていますが、高い水準を維持できているため、お子さんの成長を感じられているかと思えます。「自分から挨拶」では、昨年度子供たちで作られたスローガンをもとに、意識的に力を入れてきました。学校内では、児童、職員とも上昇傾向にあります。特に教職員からは、取り組みの成果があらわれ、自分から挨拶ができるようになってきたと感じています。引き続き学校でも取り組みを行っていきませんが、ご家庭でもぜひ声をかけていただけたらと思います。「思いを言葉や文章で伝える」では、児童・教職員ともに大きく上昇しています。これは、今年度の国語の「書く」力におもむきをおき、研究教科として言語活動に力を入れてきた成果と考えています。朝の会や授業で伝わ

りやすいスピーチを意識したり、「言葉の木」を掲示して、学年に応じて普段や文書で使える言葉を増やし、それをもとに短文を書いたりしてきました。さらに授業の中でも、相手意識・目的意識を持ちながら作文を書くことに力を入れて取り組んできました。今後も継続し、さらなる力を付けられるようにしていきたいと思います。今年度「学校の楽しさ」についてアンケートを取りました。児童・保護者ともに高い評価となりました。子供たちは日々楽しく学校に通うことができているようです。保護者の方には本校の教育活動にご理解ご協力をいただくとともに、子供たちを元気よく送り出していることに心より感謝をしております。一方で、低い評価をつけている児童がいるのも事実です。これからも一人一人をしっかりと見て、早期に対策を講じ、悩みや不安を解決できるよう努めていきます。

【本年度の教育について】

本校の経営、管理については、少々減少しておりますが、ポイントの高い項目が多く、本校の取り組みについて保護者の方にも評価していただけていると考えます。更に保護者の皆様との連携を密にし、よりよい学校にしていきたいと考えています。一方で、今回のアンケート全体的に保護者の評価が減少傾向にあります。それは、前述のとおり、学校での子供たちの様子や経営方針が伝わっていないことではないかと思えます。コロナの関係で、学校行事が縮小し、制限がある中での活動のため、「充実した学校生活を送れているのか」、「どんなことを学校では行っているのか」、学校に来る機会が減少している保護者にとっては、なかなかわからないところだと思えます。その結果が「ホームページの充実」の評価が低いことにもつながっていると考えています。これからは情報発信及び、教育活動における保護者・地域との連携の充実に更に努め、開かれた学校づくりを目指してまいります。

【今後重視してほしい教育】

【保護者】

- 1 心や心情を高める教育の充実 (18.0%)
- 2 体験活動の充実 (15.0%)
- 3 言語活動の充実 (14.7%)

【教職員】

- 1 心や心情を高める教育の充実 (21.6%)
- 2 基礎基本の学力 (13.7%)
思考力・応用力 (13.7%)

保護者、教職員ともに、「心や心情を高める教育の充実」が今後の重点であると考えていることがわかりました。【健全な心の育成】では高い評価ではありますが、心の教育は、これからも大切なものであり、力を入れて取り組むことが必要だと感じています。また、体験活動、基礎基本の学力、言語活動、思考力・応用力の充実を期待していることもうかがえます。今後も心の教育・学力向上・体力向上にっそう努めていきたいと思えます。前後して、体験活動については、心や心情を高めることや主体性を育成するために大切な活動であると認識しております。コロナの状況を見ながら、さらなる充実を目指してまいります。

※自由記述欄には学校へのご意見やご提案、そして、教職員への温かい励ましの言葉や激励の言葉などをいただきました。貴重なご意見として受け止め、今後の学校経営に活かしてまいります。